



2017年6月号

(NO.135)

* 「みんなのはらっぱ」は、親子でゆったり過ごせる 子育てひろばです。どなたでもどうぞ！*

5/15 公演『ぽかぽかぷくぷくマインマイン』by 香味野菜 の感想

ボールや箱、風船など、家の遊びのヒントになった。楽しそうに見ている子どもを見て今度やってみようと思った。



不思議で穏やかな空気の中で、子どもも引き込まれて観ていた。絵本の中に迷い込んだような体験ができた。

1歳のおが子が嬉しそうであまり見たことのない全開の笑顔がみられてよかった。子どもと一緒に踊ったりできたら、もっと良かった。

こういう舞台は初めてで、飽きちゃうかなと思ったが、楽しいお話、きれいな音色の楽器の数々、そして、出演者のかたの子どもたちへのあたたかい気持ちが伝わる素晴らしい時間だった。



簡単！安い！おいしい！《連載》わが子の大好きな一品
(こうさくくん4歳・れんやくくん2歳の巻)

「カレーおにぎり」

[材料] ① 前日の残り物カレー ② あつあつのご飯
[作り方] (1) 残ったカレーを製氷皿に入れて、凍らす。
(2) あつあつのご飯に、製氷皿から取り外したカレーを入れて、おにぎりにする。



お母さんから…

「お母さん、カレーおにぎりにして～」とリクエストされる一品。あと一品という時に、ちょこっと。カレー味は便利です。おにぎりを作る30分前に常温に戻すと、ご飯になじみやすいです。お弁当にも良いです。

第6回 万願寺交流センターまつり

7月1日(土) 9時30分～12時 (雨天実施)

「みんなの環境かるた大会」、落語、演奏、販売、体験、展示、ヨーヨー、遊びコーナー、ミニ電車…など。

くわしくは
チラシで。
来てね！

「みんなのはらっぱ」南平
火曜日(南平駅西交流センター)
「みんなのはらっぱ」万願寺
火～金曜日(万願寺交流センター)
* どちらも 9:30～14:30
* 開催日は、おもて面参照

発行：NPO法人
日野子育てパートナーの会
Tel/ Fax : 042-587-6276
✉ : info@hino-harappa.net
HP : みんなのはらっぱ [検索](#)

木かけにあつまれ!

6月8日(木)

11時～11時45分

天候によっては9日(金)に延期

万願寺交流センター前の広場

桜の木かげで、
シャボン玉で遊ぼう!

体重計測の日

南平 6月6日(火)

万願寺 6月22日(木)

9時30分～14時

はらっぱ カフェタイム

万願寺

6月16日(金)

10時～10時20分

コーヒー・紅茶・緑茶 30円、4組まで

※離れられるお子さんは、
パートナーと遊びます。

6月の親子製作
(かえる、てるてるぼうずなど)



* ママ達企画 *

バザー

万願寺 6月13日(火)

南平 6月27日(火)

どちらも10時30分～12時

提供品：募集中!

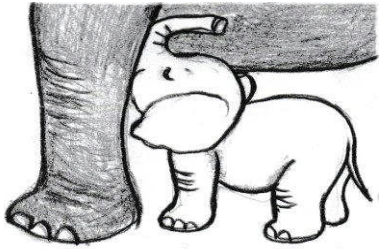
<みんなのはらっぱ開催日カレンダー>

6月

南平	万願寺			
火	火	水	木	金
			1	2
6	6	7	8	9
13	13	14	15	16
20	20	21	22	23
27	27	28	29	30

7月

南平	万願寺			
火	火	水	木	金
4	4	5	6	7
11	11	12	13	14
18	18	19	20	休み
25	25	26	27	休み



絵本「どうぶつのおっぱい」から

動物によって、おっぱいの位置がちがう。

サルのは脇にあり、木からぶらさがった時に吸いやすい。オットセイのは、水の中でちょんちょんと突つくと出てくる。他には、24個のおっぱいや、上と下にあるなどいろいろある。人間は、スーパーで売っている牛乳を飲む。牛さんありがとうございます。

紙芝居「こぞうのはな」から

子象のパオは、おっぱいはうまく吸えるけど、鼻で水はなかなか吸えない。赤ちゃんの鼻は短いから。大きくなったらできるからね。

寝るときはお母さんと並んで、はなを踏まれないように、丸めてねるんですよ。(紙芝居には、「いっしょに見たね」という共感があるところがとてもよい)

* お母さんが“好きな”本や紙芝居を、お母さんの肉声で読んで、お母さんが楽しんでいることが伝わるのがよい。

～愛されたことは、生きていく力になる～ 「お母さん いっぱい だきしめて」

「動物のお話や紙芝居をいっぱい書いてきて、子育ての大切さがわかる」と、穏やかな語り口の中に、力強くメッセージを伝えてくれました。その内容と、感想の一部を紹介します。

動物の赤ちゃんは、生まれて1時間くらいで立っておっぱいを探すけれど、人間はそういうわけにはいかない(2本足で歩くようになったから)。本当はおなかの中にいるはずなのに外に出したのだから、夜泣きも当然。そばにいてあげてほしい。だきしめてあげてほしい。

パンダのお母さんは、赤ちゃんが生まれた後、1000回位なめていた。『小さい時は抱きしめて、いざ離すときは、冷たいくらい突き放す』。ちゃんと伝わっているから安心して離す。でも、人間は、『小さいときには離したくて、大きくなったら離したくない』。赤ちゃんを育てるのはあつという間。だから、「お母さん いっぱい だきしめて！」

人間も動物であることを忘れないでほしい。

にこっと笑うのは、人間だけ。笑うことのできる人生は楽しい。子育ては、あつという間に過ぎる。抱きしめて、笑顔を楽しんでほしい。

愛されて育った記憶は、生きていく力になる。子どもの時に愛されて育った子は、愛情を誰かに返そうと思う。

我が子は小さな子だったが、「小さく産んで、大きく育てるのが理想ですよ。」と言われた。自分自身が子育てしながら、国際交流会で戸籍のない子の世話をしたりなど、いろいろなことをしてきた。おとなになった我が子のことは、自分の知らないことばかりだったが、卒業文集に小さいときのことが書かれていて、子どもに愛が伝わっているなと思った。

お母さん自身が楽しむことが大事。趣味とか、これは大好きというものを持ち続けると良い。楽しいことを「みつけよう」という姿勢が大切。自分自身も、子どもも、ともに大事にしてください。お母さんが輝いてほしいです。



帰ったら、いっぱいだきしめようと思った。

(0,3歳)

お話を聞きながら子どもの顔を思いうかべると、涙が出そうになった。毎日なかなか難しいですが、愛しい気持ちを伝えていかなければと思った。

(1,2,4歳)

娘たちの育児に追われ、イライラしてしまう日もあるが、あつという間にすぎてしまう日々だという事をあらためて感じた。いっぱいだきしめて、愛情を伝えて行こうと思う。

(0,2歳)

図書館で、紙芝居を借りてこようと思った。新宿の落語を聞きに、私も行ってみたいと思った。

(0歳)

常識のある子、いい子にそだってほしいあまり、キツく当たることも多かったし、怒ることも多かったように思うが、ちゃんとその後リカバリーしなきゃいけないなあと思った。

(3歳)

